

講座だより

第3号
8月発行

8月2日(土)に「三島商工会議所」にて第3回目の養成講座を実施しました。第3回講座では日本インタプリテーション協会理事の長谷川幸子氏をお招きし、「伝わる技術」を実施しました。今後活動するにあたり必要な知識を、実際に公園の中を歩きながら教えていただきました。以下、講座の様子です。



【講師の長谷川幸子氏】



【プログラム体験の様子】

プログラムを伝える手法の一つにインタプリテーションというものがあり、ただ情報を伝達するのではなく、体験を通して参加者が自ら気づきや学びを得られるアプローチが必要と説明があり、長谷川氏の実施するプログラムを体験する時間が設けられました。活動する中で自然と講師への質問が出始め、特に情報を伝えていないのにもかかわらず、対象としている資源に対して興味がわくということを実感している様子で、楽しそうな声が飛び交う時間となりました。



【小道具紹介の様子】



【グループワークの様子】

普段長谷川氏がプログラムで使用している小道具の紹介もあり、初めてみる道具に興味津々の様子でした。その後屋外に出て、グループに分かれて行動。フィールド内で見つけたお気に入りの物や場所を共有し合い、そのお気に入りの物を題材にして紹介する時、どのような工夫ができるかを考えるグループワークなどを行いました。最後にその結果を共有する時、「一番大切なのは何を伝えたいかを明確にすること」と講師からアドバイスがありました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課
電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp